

P連だより

2025
10/10
第50号

発行人 北岡篤哉
編集 情報委員会
発行日
令和7年10月10日

会長あいさつ



佐野市PTA連合会

会長 北岡 篤哉

PTA会員の皆様におかれましては、日頃より市P連の活動に對しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、この場をお借りいたしまして、心から感謝申し上げます。

昨年度中は、皆様のご協力のもと、佐野市PTA連合会への名称変更及び、市P連結成20周年を無事に迎えることができました。また、20周年記念教育フォーラムでは、植松努様を講師にお招きし、「将来の可能性を広げるために、大切なことが親子で学べる講演会」を、皆様のご協力のもと、盛大に開催させていただきました。ご参加いただきまして、改めて心から感謝申し上げます。

講演会での植松先生の言葉にもありましたが、「思うは招く」、「夢があればなんでもできる」、「どうせ無理」を「だったらこうしてみたら?」と、元気がない人や子どもたちに言ってあげられる、前向きな

世の中になりますようにとお話をいただきました。昨年度のご挨拶のときにもお話をさせていただきましたが、私は「いつも笑顔で楽しく」をモットーに、日々、行動をさせていただいております。どんなことでも、負担や、大変なことがあります。が、みんなが笑顔で楽しめることが、一番重要だと考えております。

それは、PTA活動も同じで、「できる人がやる」ではなく、「誰でもできる」楽しいPTA活動にしていけることが重要であり、「どうせ無理」とは思わず、「だったらこうしてみたら?」と、お互いに声を掛け合うことで、多くの方にPTAに楽しく参加できる方法を、今一度考えていただける機会になるかと思っております。

今後、できる限りのサポートはさせていただきますので、「すべては子どもたちの笑顔のため」に市P連活動にご協力をお願い申し上げます。

市P連総会・結成20周年祝賀会

令和7年5月10日
仙水閣にて

小中義務教育学校のPTA会長、校長先生、市P連役員が参加し、対面での総会を行いました。より良い運営になるようにたくさんのご意見をいただきました。

今年度は結成20周年と言うこともあり、金子市長にもお越しいただき、お祝いのお言葉を頂戴することができました。

今後、結成20周年記念誌も発行が予定されています。

<主な議案>

- ・令和6年度事業報告・決算報告
- ・令和7年度役員選出・事業計画案・予算案
- ・会則の改正について
 - 第11条 「顧問」の記載について検討
 - 「3. 顧問の任期は1か年とする。ただし再任を妨げない。」
 - 「4. 顧問は、役員の相談に乗り、会の円滑な運営を補助する。」



令和7年度 第1回PTA会長研修会

令和7年6月4日 佐野市勤労者会館にて

市内各小中義務教育学校のPTA会長が参加し、「PTA組織を運営するにあたって」のテーマで

- ① PTAの存在意義と今後のPTAの在り方
- ② 各校のPTA活動の現状と課題(コミュニティスクール、義務教育学校における課題等も含む)
- ③ PTA活動の活性化の取組

の3点を6グループに分かれて話し合いました。各学校の現状を話す中で、PTAへの積極的な参加が大きな課題となっています。

そこで、今後もPTA活動が子どもたちの学校生活をよりよく支援できる場として話し合いを重ねていき、多面的な意見を途切れることなく考えていく必要があると強く認識する機会となりました。



「部活動地域移行」について

佐野市教育委員会より、「部活動地域移行」について説明がありました。

現行実施している現状と課題が表出され、令和7年度の具体的な内容が提示されました。

佐野市立全中学校・義務教育学校の休日に活動する全部活動を対象に地域移行を実施する中で活動期間を前期(5月～7月末まで)と後期(9月～年度末まで)に分け、令和7年度から新たに実践する5校(城東中・西中・南中・北中・赤見中)は9月から地域移行を実施します。

実施内容として、学校部活動の休日の半分(月2日程度)を地域クラブとして活動することなどが検討され実施となります。

費用負担についても気になるところですが、令和7年度については保護者の負担はなしということです。今後も動向を注視していきます。

(参考 佐野市立学校部活動地域移行通信No.9)

三行詩コンクール審査会

令和7年6月18日 城北地区公民館にて

佐野市内の小中義務教育学校の児童・生徒・保護者からの応募総数764点のうち、各学校から選出された応募作品を対象に審査を行いました。

家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家族のルールといった基本的な生活習慣づくりなど家庭教育の大切さや命の大切さなどを審査基準とし、厳正な審査の結果、次のページに掲載した各部門5作品を県の審査会に出品しました。多田小学校の押山蒼空さん、葛生義務教育学校の廣瀬友香さんの作品が県の代表に選ばれました。2名の作品は、他の県代表作品と共にPTA全国協議会に推薦されます。

今年もたくさんのご応募ありがとうございました。



令和7年度 三行詩コンクール入選作品

佐野市PTA連合会
※敬称略

小学生の部

登校前に元気になる
パパとのバスケット対決
シュート決まった！行ってきます。

植野小 3年 上岡 楓果

ママがわらって パパがわらって
いもうとがわらって おとうともわらう
そのときはぼくはたのしくわらう。

犬伏小 2年 松島 雅空

お昼のハンバーグ。
かぞくにわけたら小さくなった。
でもみんなのしあわせをおおきくなった。

旗川小 4年 山田 侑奈

おしごとがある パパとママ
ぼくもはやおき
おてつだい

石塚小 1年 亀山 凉央

お母さん お母さん
毎日何度もよんでいる
大した用でもないけれど
でも何だか安心するなあ

多田小 5年 押山 蒼空

中学生の部

小さい頃、たくさん洋服を
作ってくれた、お母さん。
あのときは見えなかった手の傷が
私の未来をつくった。

北中 3年 栗原 桜妃

眠たい目もくしゃくしゃの髪も
「おはよう」って笑い合える朝
それが私の好きな家族

赤見中 1年 長沢 莉望

「ただいま」と言ったら
「おかえり」と返ってくる
たった四文字だけどそれが嬉しい

田沼東中 1年 滝澤 唯乃

私の「ただいま」の一言で
どんな日だったか分かるみたい
「何があったの？」って聞かないね
ただそばにいてくれてありがとう

葛生義務 9年 廣瀬 友香

笑いたい時に笑っても良い。
泣きたい時に泣いても良い。
だってこの人生、「命」は
「私」のものなんだから。

佐高附属中 2年 卯月 星空

一般の部

反抗期 後ろ姿で「行ってきます」
それでも願う、今日の無事を。
いつか振り返る、その日まで見守るよ。

犬伏小 渡辺 恵

パパ不在
子どもとママの羽のばし
笑顔があれば問題なし

吾妻小 大関 万季

遠ざかる君の大きくなった後ろ姿
「いつていらつしゃい」と見送る私に
はづかしそうに そっと手を振る

赤見小 荒居 節子

ママ大好き・・・
ふとした瞬間 言われる言葉
忘れていたこと 全て思い出される
この瞬間があるから 顔晴（がんば）れる

吉水小 栗原 三佳

家族みんなで 食卓を囲んで
楽しかった一日をふりかえる。
幸せな 大切な 家族の時間。

葛生義務 萱原 玲子

令和7年度 佐野市PTA連合会 常任委員会

各委員会ごとに顔合わせと今年度の活動計画を立てました。1年間、このメンバーで活動していきます。

総務委員会



事業委員会



生活安全委員会



情報委員会



委員の紹介

◎：委員長 ○：副委員長

市P連役職	氏名	所属PTA・役職	担当委員
会長	北岡 篤哉	南中	—
副会長	石倉 大	天明小	○総務
	篠崎 公次	犬伏東小	○生活安全
	廣瀬 敦史	出流原小	◎総務
	黒田 和宏	多田小	○事業
	小暮真由美	南中	○情報
	松尾 望	あそ野学園	◎事業
	萱原 元	葛生義務	◎生活安全
	高橋 典子	佐高附中	◎情報
	山崎 裕隆	赤見小	情報
	久保 雅英	葛生義務	生活安全
理事	針谷美保子	界小	事業
	寒澤 昌弘	石塚小	生活安全
	澁江 宏史	田沼東中	生活安全
	阿部 康	城東中	事業
	書上 琢磨	赤見中	情報
	田中陽二郎	赤見中	総務
	松崎 一彦	葛生義務	事業
監事	和田 誉	西中	総務
	川田 健二	葛生義務	事業

顧問 山越 智行

市P連役職	氏名	所属PTA	担当委員
常任委員	立川 俊一	天明小	総務
	青木 梨沙	吾妻小	
	橋本 岬	赤見小	
	千葉 裕史	田沼小	
	小沼 美香	吉水小	
	長沢 智己	赤見中	
	八重樫 圭	田沼東中	
	喜井 里実	犬伏東小	事業
	柳沢 真人	出流原小	
	玉井 成美	城東中	
	尾林 真生	北中	
	小沼 英司	あそ野学園	
	松島有美子	あそ野学園	
	提箸 香里	葛生義務	生活安全
	大手 綾乃	植野小	
	若林 友維	城北小	
	山田 樹里	旗川小	
	山田 享美	栃本小	
	岩崎 和恵	多田小	
	山菅 薫	葛生義務	
	黒田 梨絵	佐野小	情報
	小曽根千晴	界小	
	荒巻 宏行	犬伏小	
	小原澤まどか	石塚小	
	大島 摩理	西中	
	金子 朋弘	南中	
	柏崎 陽香	佐高附中	